

平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月29日

上場取引所 大

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.ipd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大部 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括

(氏名) 久保 裕

TEL 03-5408-3351

四半期報告書提出予定日 平成25年4月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	3,657	19.6	190	414.3	218	222.3	114	456.9
24年5月期第3四半期	3,058	△12.0	36	△66.4	67	△52.3	20	△66.0

(注) 包括利益 25年5月期第3四半期 119百万円 (434.9%) 24年5月期第3四半期 22百万円 (△64.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	20.65	—
24年5月期第3四半期	3.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第3四半期	8,710	8,038	92.3
24年5月期	8,624	8,085	93.8

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 8,038百万円 24年5月期 8,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年5月期	—	15.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	9.7	310	24.5	350	17.6	202	33.2	36.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期3Q	5,745,184 株	24年5月期	5,745,184 株
25年5月期3Q	200,092 株	24年5月期	200,092 株
25年5月期3Q	5,545,092 株	24年5月期3Q	5,545,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興関連需要が引続き下支えしたものの、欧州政府債務危機に伴う世界的信用不安の広がりによる海外経済の更なる下振れや新興国経済の減速懸念などにより、国内景気の先行きは不透明な状況にありました。

情報サービス産業におきましても、ソフトウェア投資は緩やかに増加しているものの、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は継続しており、受注環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした環境の中、当社は平成24年6月より3ヶ年の新たな中期経営計画をスタートいたしました。中期経営ビジョンを「社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」と定め、①当社が得意としている社会インフラ分野の中から新たな注力分野を発掘する、②顧客が海外で高い競争力を発揮できるようサポートする、③ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることにより顧客に最大のメリットを提供するというトータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス (T-SES) の推進を継続する、を基本方針として企業価値向上に努めております。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は3,657百万円（前年同期比19.6%増）、営業利益は190百万円（前年同期比414.3%増）、経常利益は218百万円（前年同期比222.3%増）、四半期純利益は114百万円（前年同期比456.9%増）となりました。

なお、保有しております株式の評価損を当第 3 四半期連結累計期間に特別損失として10百万円計上しております。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

(制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムの開発は、東日本大震災の復興需要が一巡し、全体的に開発量が減少傾向にあります。そのため、引続き担当機能の拡大を図ることで改善に努めましたが、売上高は前年を下回りました。発電所制御装置のミドルウェア開発や環境運用計算機の開発等は横ばいで推移しました。一方、自動車向けでは車載ナビシステム開発がやや減少傾向にあるものの、自動車制御システム開発が好調に推移したため、制御システム全体として売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は803百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は186百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

(交通システム)

交通システムでは、新幹線の運行管理システム開発は一部保守フェーズに移行するなど減少傾向にあるものの、北海道新幹線延伸に関わるシステム開発作業を開始したため横ばいで推移しました。また、在来線の運行管理システム開発も横ばいで推移しましたが、その他のシステムの不具合対応により受注活動が不足したことなどで、売上高、利益ともに前年を下回りました。

この結果、売上高は398百万円（前年同期比14.5%減）、セグメント利益は49百万円（前年同期比31.4%減）となりました。

(特定情報システム)

特定情報システムでは、前期より継続している危機管理分野の大型システム開発は最終フェーズに入り体制が縮小しているものの、他案件の環境構築作業が始まるなどで堅調に推移しました。

この結果、売上高は524百万円（前年同期比105.0%増）、セグメント利益は138百万円（前年同期比257.7%増）となりました。

(組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイスの組込システム開発は堅調に推移しました。スマートフォンのプラットフォーム開発は、受注に山谷があるものの横ばいで推移しました。また、今期より開始した自動車向けの組込システム開発も順調に立ち上がりました。

この結果、売上高は599百万円（前年同期比30.5%増）、セグメント利益は114百万円（前年同期比542.6%増）となりました。

(産業・公共システム)

産業・公共システムでは、ICカード関連のシステム開発は、携帯電話やスマートフォン向けに加えデジタル放送向けも受注するなど堅調に推移しました。また、顧客の業務拡大に伴い、コンテンツ管理製品の開発は堅調に推移し、スポーツ関連システムの開発も新たに開始しました。その他事業会社向け開発も堅調に推移しました。

この結果、売上高は625百万円（前年同期比53.1%増）、セグメント利益は153百万円（前年同期比45.9%増）となりました。

(ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は顧客の商品開発の減速やオフショア化によりアイドルが発生したため売上、利益ともに減少したものの、構築支援業務は復興需要などで堅調に推移しました。また、保守・運用業務は会計システムが堅調に推移し、その他は概ね横ばいとなりました。

この結果、売上高は705百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント利益は119百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて86百万円増加して、8,710百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて133百万円増加して、671百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金及び未払法人税等が増加したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて46百万円減少して、8,038百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いにより剰余金が減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、92.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年7月9日公表の平成25年5月期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年 2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,021,498	3,089,115
受取手形及び売掛金	1,898,508	1,641,620
有価証券	1,851,875	1,001,932
仕掛品	156,726	300,140
原材料	562	562
繰延税金資産	116,450	132,429
その他	45,387	96,716
貸倒引当金	△471	—
流動資産合計	7,090,538	6,262,517
固定資産		
有形固定資産	237,691	233,819
無形固定資産	61,487	38,312
投資その他の資産		
投資有価証券	955,413	1,905,106
その他	279,160	270,989
投資その他の資産合計	1,234,574	2,176,096
固定資産合計	1,533,753	2,448,227
資産合計	8,624,292	8,710,745

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年 2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,769	44,830
未払法人税等	32,488	72,948
賞与引当金	236,535	273,441
その他の引当金	8,987	15,829
資産除去債務	3,843	—
その他	166,470	211,820
流動負債合計	483,094	618,870
固定負債		
引当金	55,254	52,679
その他	96	348
固定負債合計	55,350	53,027
負債合計	538,444	671,898
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,448,581	4,396,751
自己株式	△175,248	△175,248
株主資本合計	8,086,590	8,034,760
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△742	4,086
その他の包括利益累計額合計	△742	4,086
純資産合計	8,085,847	8,038,847
負債純資産合計	8,624,292	8,710,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 6 月 1 日 至 平成24年 2 月29日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 6 月 1 日 至 平成25年 2 月28日)
売上高	3,058,406	3,657,535
売上原価	2,477,607	2,913,828
売上総利益	580,799	743,706
販売費及び一般管理費	543,805	553,446
営業利益	36,994	190,259
営業外収益		
受取利息	20,323	18,815
保険解約返戻金	5,709	6,107
その他	4,823	3,506
営業外収益合計	30,855	28,429
営業外費用		
その他	138	428
営業外費用合計	138	428
経常利益	67,711	218,260
特別損失		
固定資産除却損	287	1,069
投資有価証券評価損	—	10,940
特別損失合計	287	12,009
税金等調整前四半期純利益	67,424	206,250
法人税、住民税及び事業税	19,303	111,187
法人税等調整額	27,556	△19,460
法人税等合計	46,860	91,727
少数株主損益調整前四半期純利益	20,563	114,523
四半期純利益	20,563	114,523

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	20,563	114,523
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,748	4,829
その他の包括利益合計	1,748	4,829
四半期包括利益	22,311	119,352
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,311	119,352
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I. 前第3 四半期連結累計期間（自 平成23年 6月 1日 至 平成24年 2月29日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	748,446	466,680	255,713	459,322	408,802	719,441	3,058,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	748,446	466,680	255,713	459,322	408,802	719,441	3,058,406
セグメント利益	187,984	72,835	38,807	17,808	105,142	182,291	604,870

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	3,058,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	3,058,406
セグメント利益	△567,876	36,994

(注) 1. セグメント利益の調整額△567,876千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△543,805千円及びその他△24,071千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	803,635	398,836	524,249	599,548	625,895	705,368	3,657,535
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	803,635	398,836	524,249	599,548	625,895	705,368	3,657,535
セグメント利益	186,251	49,984	138,811	114,436	153,422	119,522	762,429

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	3,657,535
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	3,657,535
セグメント利益	△572,169	190,259

(注) 1. セグメント利益の調整額△572,169千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△553,446千円及びその他△18,722千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	617,384	+10.2
交通システム	348,852	△11.4
特定情報システム	385,437	+77.7
組込システム	485,111	+9.9
産業・公共システム	472,473	+55.6
ITサービス	585,846	+9.1
合計	2,895,105	+18.0

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	739,384	+7.9	116,967	+48.1
交通システム	470,616	+43.2	281,561	+1.5
特定情報システム	475,194	+20.9	85,510	△61.6
組込システム	561,688	+32.0	81,418	+211.0
産業・公共システム	650,441	+52.5	130,265	+95.0
ITサービス	662,207	△2.3	96,653	△0.6
合計	3,559,533	+21.2	792,375	+3.0

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	803,635	+7.4
交通システム	398,836	△14.5
特定情報システム	524,249	+105.0
組込システム	599,548	+30.5
産業・公共システム	625,895	+53.1
ITサービス	705,368	△2.0
合計	3,657,535	+19.6

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	891,244	29.14	1,163,131	31.80
日立オートモティブシステムズ株式会社	353,441	11.56	405,324	11.08
株式会社東芝	309,167	10.11	395,215	10.81

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。